

水アクション加速に向けたビジネス・リーダーによる呼びかけに参加を

私たち企業界のリーダーは、気候変動により深刻化する世界的な水問題に強い危機感を抱いています。企業は、潮流を変えるために重要な役割を果たすことができ、また、果たさなければなりません。

この歴史的な「2023年国連水会議」開催の機会に、私たちは、水に関わる大胆なアクションを起こすことを約束し、世界の経済界に向けて参加を呼びかけます。私たちは、グローバルな事業とサプライチェーン全体にかけて水レジリエンスを確立し、2030年までに少なくとも100の脆弱で優先すべき流域において、力を合わせポジティブな水インパクトを与えるために手を携えることを約束します。

私たちは水危機の深刻さを認識しています

私たちは、懸念を示すだけでなく、迅速な行動へと移る必要があります。水の供給不安は、人道面、環境面そして経済面に及ぶ21世紀における喫緊のサステナビリティ課題の一つです。20億人以上の人々が安全な飲料水を確保できず^{*1}、2030年には40%の水負債が予測され^{*2}、水源を守ってきた生態系が急速に破壊されています^{*3}。気候変動はこうしたリスクをますます深刻化させることから、行動を起こすことが急務となっています。

水課題におけるビジネスの使命とは

私たち企業は、転換のきっかけになり得る立場にあり、そして、きっかけとなる使命があります。企業は多くの水を消費し、水資源に大きな影響を与える存在です。グローバルに事業を展開する事業体として、企業は水資源管理も当然行います。水分野の課題は、事業継続上、規制遵守上、気候変動対策上、そして従業員の健康におけるリスクに繋がるからです。しかし、こうした自社事業への影響だけが、行動を起こす理由であるべきではありません。気候変動と自然環境保全、この関連する課題に取り組むには、レジリエントな水供給が欠かせません。

また、食糧安全保障、人々の健康、生物多様性、ジェンダー平等など複数の持続可能な開発目標(SDGs)の優先課題に、私たちが社会として取り組める根底には、レジリエントな水供給があります。多くの企業が、すでにウォーター・スチュワードシップ・ソリューションに投資しているものの、より多くの企業がそのような取り組みを行い、私たち企業界の進展を加速させなければなりません。

*1 <https://www.weforum.org/agenda/2019/06/hotspots-h2o-new-un-report-details-global-progress-and-problems-with-access-to-safe-water-and-sanitation>

*2 <https://press.un.org/en/2016/sgsm18114.doc.htm>

*3 <https://www.global-wetland-outlook.ramsar.org/> <https://www.fao.org/3/ca9825en/CA9825EN.pdf>

ビジネス・リーダーによるグローバル・アクション加速に向けた呼びかけ

進捗が芳しくないSDGsゴール 6 下のターゲット群を達成するためには、水に対するアクションを一気にスピードアップしなければならず、企業は、各社で関連アクションを優先して実施するとともに、他の企業、市民社会、政府とともに集团的行動を展開することで、その役割を果たす必要があります。そのために必要な私たちのコミットメントは明確です：

1. 私たちが事業を展開する流域において、会社全体で水レジリエンスを強化する取り組みを行います。私たちが直接的に事業活動を行う地域では、実行可能な水レジリエンス目標を定め、レジリエンス（強靱に立ち直るための対策）と緩和（影響を最小限にとどめる対策）の計画を策定することで、気候変動にレジリエントな水資源管理手法を飛躍的に広めます。
2. サプライチェーンにおいては、水量、水質および水アクセスの全てにおいて、レジリエントな水利用管理をサプライヤーに採用してもらい、先進的な取り組みを飛躍的に広める戦略実施に努めます。
3. また、私たちは、加盟企業の事業やサプライチェーンにおいて最も負荷がかかっている水域に特に焦点を当てつつ、2030年までに世界各地の、少なくとも100の脆弱な水域において、集团的にポジティブな水インパクトを与えるべく、手を携えていきます。私たちは、流域全体の水の利用可能性、水質、そして水アクセス改善に基づいて、水ポジティブ指標を毎年測定する予定です。
 - a. 私たちは、地域の水レジリエンスを強化するための、ネイチャー・ベース、またはその他の公正で気候変動にレジリエントな、地域の特色に配慮した解決策への投資を行うよう、努めます。
 - b. 私たちは、他の企業、政府、および市民社会と協力し、人権に基づくアプローチを用いて、地域住民や少数派コミュニティとも連携を図り、財源不足を解消するための共同融資メカニズムを推進し、事業上の強みを生かして解決策を生むことを目指します。
 - c. 私たちは、企業の定量化可能な水利用管理手法の実践を推進する政策、慣行および規制を後押しするために、ともに声を上げるよう、努めます。
 - d. 気候変動に関する国際連合枠組条約（UNFCCC：United Nations Framework Convention on Climate Change）、生物多様性条約（CBD：Convention on Biological Diversity）、2023年国連水会議、その他のプラットフォームを通じて、気候や自然に関するアジェンダをはじめとするグローバル・アジェンダに占める水への関心が高まるよう、支援を行います。

水にまつわる歴史的な転換点

今この時が転換点となるように、行動しなければなりません。私たちは自らの行動を約束するとともに、ビジネス・リーダー、政府、市民団体と声を合わせ、より多くの企業がビジネス活動を展開する地域社会において、そして世界各地の水ストレスある流域において、水レジリエンスに向けた行動を果敢に加速するよう、ビジネス・リーダーに直接呼びかけます。

今こそ、ウォーター・アクションを

www.wateractionnow.org